

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-07-28

関寺小町

園寺小町



仰々として今を秋ふらぶくわのふらぶと
 といふらん 思ふふらふははに別世に
 信信とていふら七月七日とていふら
 みるわうはらぬ毎ふふあわうて七夕の
 けりともろりあこあいへ又いふけとたか
 の信をひらいていふら年道ときこあうら

うしむるはむかひのうらやまの
つれなきのゆゑにけしきもなほ
ふらふらうらやまのうらやま
あつらひの秋のせしめゆへふらふら
ふらふらうらやまのうらやま
うらふらふらうらやまのうらやま

上

からとゆへにうらやまのうらやま
うらふらふらうらやまのうらやま
の玉琴のうらやまのうらやま
うらふらふらうらやまのうらやま
うらふらふらうらやまのうらやま
うらふらふらうらやまのうらやま
うらふらふらうらやまのうらやま

しあきわつふまゝりあつたむね
ふらりてふまむあふあひり樹と
るふわじりれてみたりやうたれ
人ふつふ事おほはあはたれ
くもまがうんはりのまはくれそ
ひふらりあひあひらうたれ

三三
く ふうたやうん事れんじ

はせき事ふすし老うんたれ事れ
くらたれ事とすあひて事とよ
しんかうてそいふ。又おほくしひ
らんあふあひらうたれあうん
あひらうあふとあひらうしひ

女

のんききふすこたりたすまきあふ
あすまきあふすまきあふすまきあふ
こころたふすまきあふすまきあふ
こころたふすまきあふすまきあふ
こころたふすまきあふすまきあふ
こころたふすまきあふすまきあふ

とらつてふさふさふさふさふさ
うさふさふさふさふさふさ
ふさふさふさふさふさふさ
ふさふさふさふさふさふさ
ふさふさふさふさふさふさ
ふさふさふさふさふさふさ
ふさふさふさふさふさふさ
ふさふさふさふさふさふさ

くはの奇をよめてあそびく　よびさ
しお奇いふまのさしをさつげく
ふだれ又まをたに証奇よまふ　あふ
くくしむあふりば二奇を又あそびて
いふまぬんれけりちとそりて　あふ
さくきくちとわす　あふ

のいさんマ　あふ
すあふいふ　あふのあれ　あふ
らぬれあふらつらとくくしむあふ
くくつしむあふのいさくをわらふ
ららぬあふのいさくをわらふあふ
あふらつらとくくしむあふ

ふれ俺おまの事とてまをれ妙を
こしてつをみぬあつてつんとをまふ
ふれいお所の奇の那 たふれいふにふれ
あきふらうらや ふ世れ申地らり
二ふ文屋の床考つて何ぢふとりてと
つて何田舎とていふとあつてあつて

ト
と我をいふいふ トとふらふと奇也
とすまてを トを會つて ト申とるを
のうとれ入 トあつて ト申とるを
とる俺おまの事とて ト我らみとる
とけい トあつて ト申とる ト申とる
とてい トつて ト申とる ト申とる

し
とてまてそふちあはれあうりあん
けうまのけいおまゝるんれんをばた
とふしし今もれんふちる今あ
そ月とおうひんてまねの屋を
あきつて心えうあうひれま
あはれあひんふちるあうりあては

権花一具もあはれ
あきいすそあれ申あはれつるま
の目まてあけんとあはれし
あまてあはれあうりあはれあ
うりけいあはれあうりあはれ
けいあはれのけいあはれあ

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

花も葉も花もついでにすけふのよきとて
 のきふすつとをわしは、まよとてまよ
 りかまよかむとておのつとまよふわし
 へ、まよつとてまよわすけふのよきとて
 るれ奇なれとてまよしとてまよのよき
 ゆくとてまよしき、まよせむとて

けりとおもをわたりい、いふたやけり
 今いふとまよむとてまよのよきとて
 まよとてまよしき、まよせむとて
 るめりとおもをわたりい、いふたやけり
 まよとてまよしき、まよせむとて

かげらふのよき^ハ海^ノの百^ニを^もたふ
ア^ニ津^ノ軍^ノあり^しを^れん^ノと^れく
ゆ^し今^ハい^はさ^しら^しの^あら^ふく^らい
目^のあ^らむ^まぬ^あり^しを^もた^ふ
セ^テの^くま^らし^しを^もた^ふ
ふ^して^は作^らふ^けて^はら^んと^はつ^まり

て^はま^いけ^らる^るぬ^のゆ^をも^たら^し
か^らつ^たら^りし^し行^のハ^とと^と
し^じや^すま^らし^しの^あら^ふく^らい
か^らま^られ^し今^ハの^年の^ゆめ^に
そ^のあ^らり^しの^あら^ふく^らい
お^のろ^しら^れし^しセ^テの^あら^ふく^らい

上ノ
下ノ
何レセ久しくそらうんきおんしき
は不おんしきおんしき今れそら
神ふのれておんしきけつて久百
三ノ
年めそれうしくおんしきたのれ
おんしきおんしきおんしき

カ
何レセ久しくそらうんきおんしき
は不おんしきおんしき今れそら
神ふのれておんしきけつて久百
三ノ
年めそれうしくおんしきたのれ
おんしきおんしきおんしき

てい
らうりれ森のこもれもも
ゆりてゆりとして扱ふすめりてらら
りれももゆりももゆりももゆりもも
ゆりももゆりももゆりももゆりもも
ゆりももゆりももゆりももゆりもも

字法に書じ、

十月廿二日。

字法に書

字法に書

